



日本学術会議主催学術フォーラム

世界の防災の未来

― 災害の経験をつまえたメガシティの
防災力強化に向けた
科学技術イノベーション ―

日本学術会議では、2025年に発出を予定している提言「壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション」について考える場を創出し、対応、効果的な情報伝達に不可欠な制度、そして広域的・国際的な連携などについて国内外の専門家が議論します。さらに、関東大震災、阪神・淡路大震災、能登半島地震への対応は防災体制や制度設計の見直し、科学技術の活用に関して、今後の都市防災に多くの示唆を与えるものであり、実践的知見の共有を通じて議論を深めます。国内およびアジア太平洋地域を含む海外から招き、知見の交流と協働を促進します。

会場

日本学術会議講堂
(東京都港区六本木7-22-34)

ハイブリッド開催 (YouTube Live配信 (日・英))

同時通訳あり **参加費無料**

プログラム

- 10:30-10:45 開会挨拶、趣旨説明
- 10:45-12:00 **セッション 1**
災害事例に基づく最新の教訓
- 13:00-14:35 **セッション 2**
壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化
- 14:50-16:45 **セッション 3**
世界の防災の未来に向けて (講演+パネルセッション)
- 16:45-17:00 議長声明

各セッションの登壇者は、日本学術会議のホームページ上に、おって公表いたします。
プログラムは変更になる可能性があります。

コーディネーター

- 竹内 徹 (日本学術会議第三部会員／東京科学大学 名誉教授)
- 寶 馨 (日本学術会議連携会員／国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長／京都大学 名誉教授)
- 田村 圭子 (日本学術会議第三部会員／新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

申込み

事前申し込みは下記 URL または QR コードから
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0346.html>

申込み締切 **12月3日(水)** 事前参加登録へのご協力をお願いいたします。



主催 日本学術会議



共催 防災減災連携研究ハブ (JHoP)



国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (NIED)



後援 防災学術連携体 日本建築学会 土木学会

日本地震工学会 地域安全学会

問合せ 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 TEL : 03-3403-6295

令和7年

12月9日 火

10:30~17:00